

厚木市学校教育情報化推進計画 策定に係る意見交換会

令和8年9月18日
厚木市教育委員会

■ 本日の意見交換会のねらい（お願いしたいこと）

- ① 計画策定の趣旨と将来像を共有すること。
- ② 計画をより良くするための「ご意見・期待」をいただくこと。

- 意見の出し方
 - ✓ 本日の質疑応答
 - ✓ 本日配布のアンケート（紙またはWeb）
- いただいた意見の活用
 - ✓ パブリックコメント実施に向けた計画素案やアクションプランへの具体策の検討に活用

01 計画策定の背景・趣旨

3

計画策定の背景・趣旨 ～なぜ今、新たに計画を作るのか？～

- ✓ 児童生徒1人1台端末の整備から5年経過、各校で利用は定着
- ✓ 教職員端末や校務支援システムの更改等、I C T環境整備は概ね完了



- ✓ 生成A Iの登場（急激な技術革新）
- ✓ 教育D Xに対する期待値の高まり
- ✓ 国からの要望（計画策定）

重要な課題として
急浮上



今まで
市の情報化推進計画の
実施計画



これから
学校教育分野における
情報化推進の将来像を
より明確化



独立した計画として
新たに整備

4

教育振興基本計画基本理念
未来を創る人づくり

学校教育情報化推進計画

学びのDXと校務DXの一体的な推進

学びの質の向上
(学びのDX)



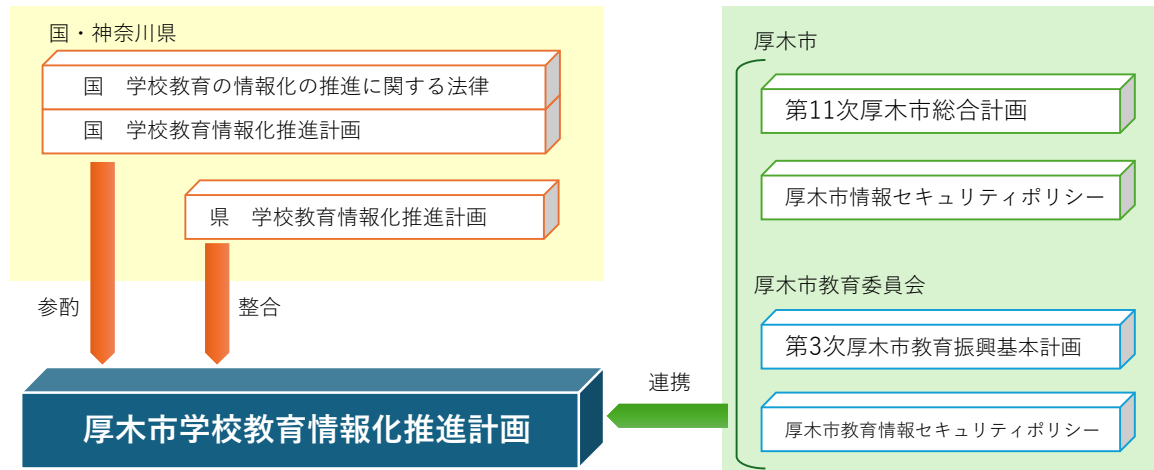
教職員の働き方改革
(校務DX)

5

02 計画の位置づけと体系

6

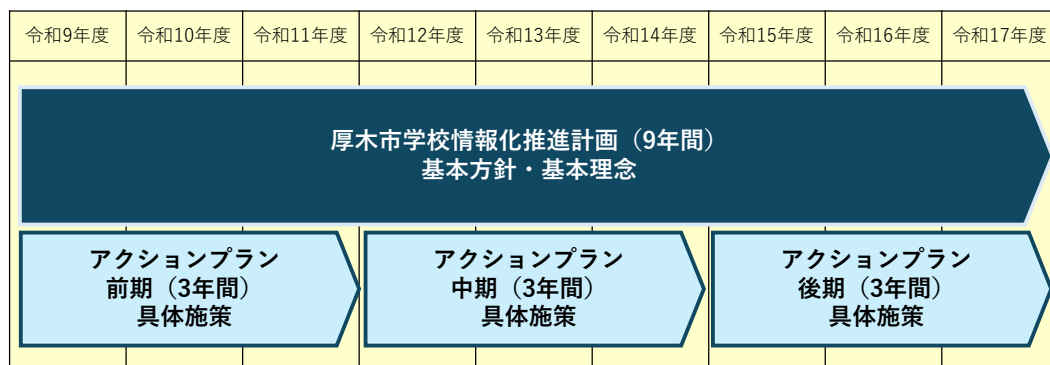
計画の位置づけ



7

計画の体系

9年間の計画（本体）× 3年更新のアクションプラン



8

03 策定にあたり考慮すべき視点

9

策定にあたり考慮すべき視点



学校現場の実態に即した実効性



情報セキュリティ・個人情報保護の確保



生成 A I の適切な利用



持続可能な整備・運用



デジタルとアナログのハイブリッド活用



適切な成果指標（K P I）の設定

10

04 計画の構成

11

計画の構成

国の計画に基づき、4本の柱で「現状と課題」、「施策」を整理

柱① 児童・生徒の資質・能力

柱② 教職員の指導力

柱③ ICT環境整備

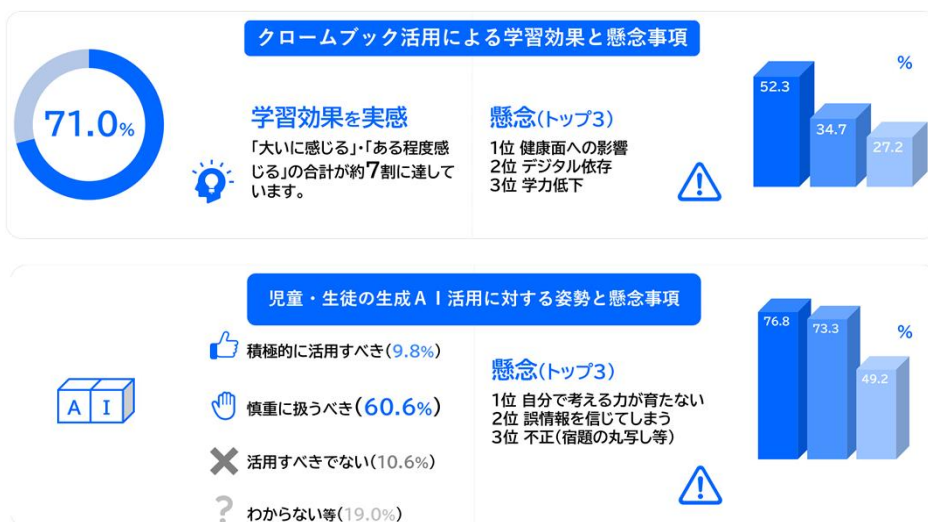
柱④ 働き方改革と組織・体制

12

05 保護者・教職員アンケート

13

保護者アンケートの結果（概要）



14

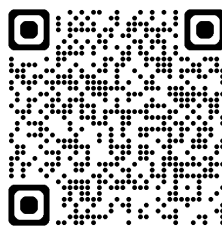
教職員アンケートの結果（概要）



15

保護者・教職員アンケートの結果（詳細）

厚木市ホームページを御参照ください。



16

06 現状と課題、施策の方向性

17

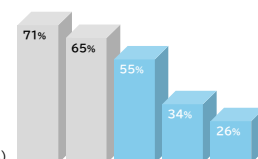
柱① 児童・生徒の資質・能力

現状と課題

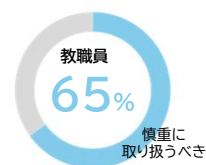
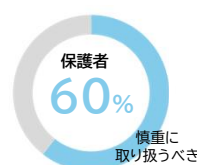
- 学びの質の向上
【現状】 端末の利用は定着
【課題】 多くは教材の提示や調べ学習にとどまる
- 情報モラル教育及びメディアリテラシー教育の充実
【現状】 インターネットに接する機会の増加
【課題】 情報モラル・メディアリテラシー教育の充実
- 困難を抱える児童・生徒への活用促進
【現状】 一部で音声読み上げなどの取組が進む
【課題】 支援モデルを整理し全市的な取組みとして普及
- 生成 AI の利用
【現状】 日常生活に浸透しつつある
【課題】 利便性やリスクを理解した上で活用場面を整理

教職員の授業における
ICT活用目的

- 1位 教科書・教材の提示
- 2位 調べ学習・探究学習
- 3位 個別学習(習熟度別・反復)
- 4位 表現活動(プレゼン・動画等)
- 5位 協働学習(意見共有・共同編集)



児童生徒のAI利用

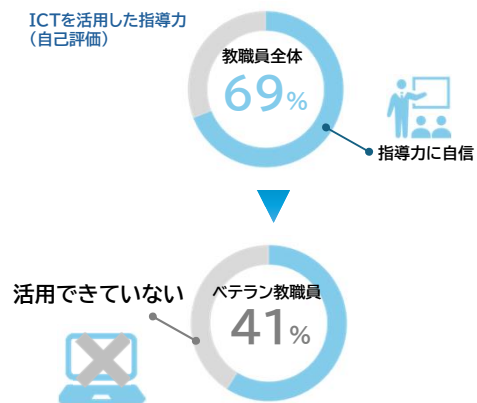


18

柱②教職員の指導力

現状と課題

- 授業改善につながるICT活用指導力の向上
 - 【現状】教職員全体でみるとICT活用した指導の意欲は高い
 - 【課題】個人間や経験年数別にみると意欲やスキル差がある
- 授業における生成AIの適正利用に向けた指導体制整備
 - 【現状】教職員全体でみるとAIの認知度や利用率は高い
 - 【課題】AI利用の教育的効果とリスクを把握した上での指導



19

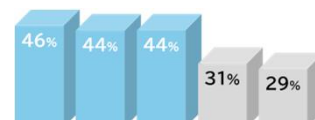
柱③ICT環境整備

現状と課題

- 整備から活用への転換
 - 【現状】国が求めるICT基盤整備はおおむね完了
 - 【課題】デジタル教材等のさらなる充実を求める声
- 通信環境の安定性確保
 - 【現状】安定稼働を実現している
 - 【課題】デジタル教科書やCBTの本格稼働に備えた通信環境の確保

ICT環境整備に期待すること

- 1位 デジタル教材・学習ツールの充実
- 2位 ネットワークの安定化・高速化
- 3位 校務DX推進(業務削減)
- 4位 端末の更新・性能向上
- 5位 情報モラル教育の充実



20

柱④働き方改革と体制・組織

現状と課題

■校務DXの定着

【現状】国が求めるICT基盤整備はおおむね完了

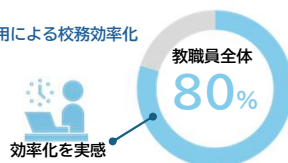
【課題】環境整備状況と現場教職員の体感に差がある

■校務DXを全校標準とする推進体制の構築

【現状】生成AIを含むICT活用環境の利用促進

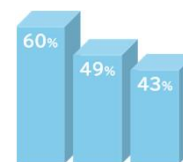
【課題】一部の担当者に負担が偏らない組織的・標準的な利活用体制の構築

ICT活用による校務効率化



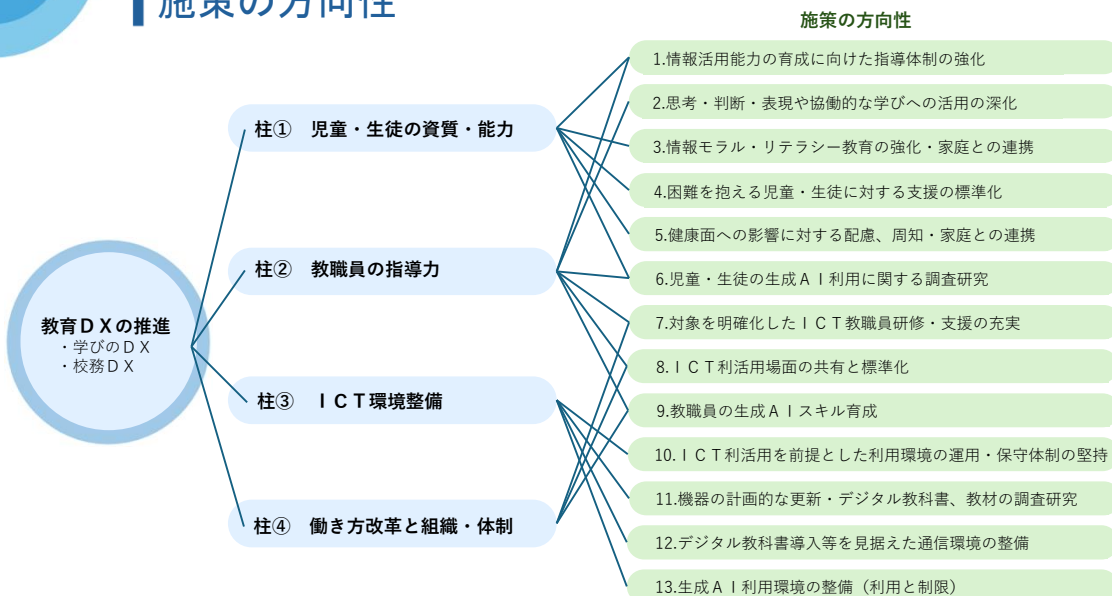
校務DX推進の課題

- 1位 ICTスキルの個人差
- 2位 校務支援システムの使い勝手
- 3位 セキュリティ制約



21

施策の方向性



具体施策はアクションプランで規定

22

07 計画の策定体制とスケジュール

23

策定体制

① 庁内検討組織

教育委員会の部長・課長級職員で構成する委員会

② 有識者の参画

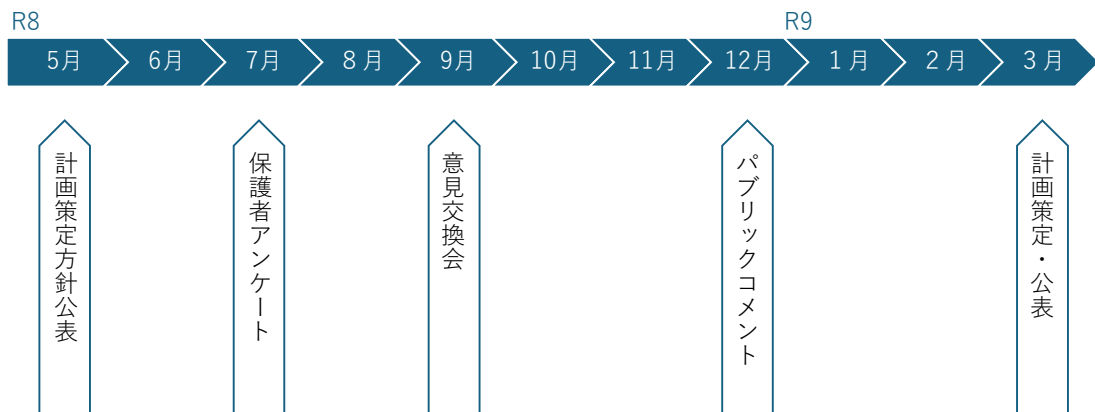
あつぎ未来共創フェロー

③ 市民参加

- 保護者・教職員アンケート
- 意見交換会
- パブリックコメント

24

計画策定スケジュール



25

ご清聴ありがとうございました。